

# Melt

灰色に重く垂れ下がった空から、ついに白いものが落ちてきた。低くなった空を見上げると、上空の方で白い塵のようなものが舞っている。この調子ならばしばらくすると、街は雪景色に包まれるだろう。彼女がもう4年も住んでいるこの部屋の窓から見えるのは、隣のビルの白い壁だけだ。けれど、窓から大きく体を乗り出して右の方を見ると、ほんの少しだけ通りが見える。彼女はそれが気に入っていた。通りを横切る人達の横顔や、通りのお店に入った人達が見えるからだ。でも今日は違う。アパートの窓から体を乗り出して空を見上げた。アパートの壁と向かいのビルの壁の隙間の細長い空から彼女を目掛けて雪が舞い降りてくる。どんどん降ってくる。彼女は大きく口を開けて雪を呑んだ。雪の日は彼女にとって特別な日。いつだったかある寒い朝、しばらく風邪で寝込んでいた彼女が1週間分のゴミを指定の場所に出すためにまだ青ざめた手に袋を握り締めて部屋から出ると町は真っ白に覆われていた。寝込んでいる間に雪が降ったんだ…。彼女はとろとろ凍ったところで足を滑らさないように気をつけて一步一步踏み出した。すると、気をつけていたはずなのに、パリッ！パリッ！と大きな音がして何か割れた。驚いて見渡しても、何も割れた様子はない。彼女はその音は身体の中で聞こえた気がしたけれど、気のせいだと思った。でも、その日からだった。うんと寒くなって雪でも降り出すような時に、彼女は透明になることが出来るようになったのは…。冬の本当に寒い時だけ、彼女は透明人間になって、部屋を出て自由に駆けて行かれるのだ。雪の降る日はなおさら調子がいい。気温の差によって少し温かい日には消えたと思った体も少し輪郭くらい見えたりするようだ。ある時、透明人間になった彼女が通りを歩いていた。見えないのを良いことに、人と人を見つめずすりすり抜けて楽しんでいると、仕事先の友人がいるのを見かけて、ちょっといたずら気分で彼の目の前をふさぐように歩いてみた。彼女は後ろ向きになって彼の顔を数歩歩いた。すると彼は驚いた様子で、真正面を見据えている。自分の目が信じられないといったようすで大きく目を開けて呆然としている。彼女にはわかった。私のことが少し見えているんだわ。見えているようで見えなから余計不思議なんだろう。おもしろい…あんなびくびくした顔して、彼はついに通りの真ん中に立ち止まってしまい、呆けた顔で迎いを見回した。彼女はそれを見届けると、彼の前から消えた。彼は彼女の心の恋人だった。彼と秘密をわけてあったほんの少し彼に近づいた気がした。彼女は思った、それにしてもどうしてあの日、彼に私のことが見えたのかしら。人込みの中で少し温かくなったのかも…気をつけなくちゃ。見えないとばかり思っている、氷みたくにどんどん溶けて行くだわきと、あの数日後、仕事先で彼と顔を合わせたのに、彼は私の事を気にとめなかった。透明な時の私のことは見えたのに、今の私は彼の目には見えないのね。

# COLUMN

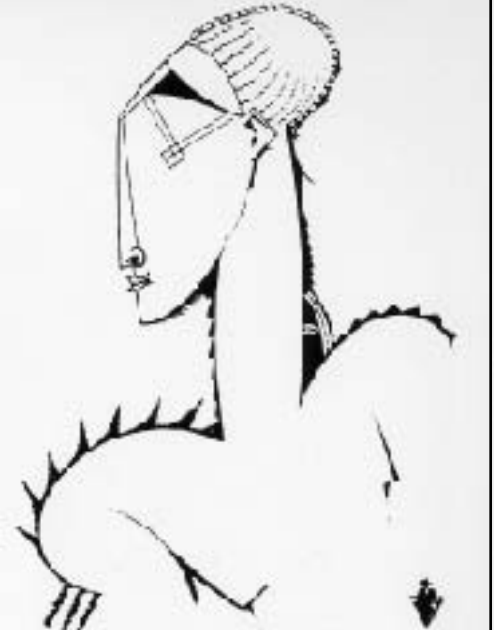
## 鎌倉の猫事情 第四十七話

季節はずれの落ち葉がひらひらと、ゲーニーの頭の上に舞い降りています。ゲーニーは不機嫌そうに三角の目を少し開いただけで掃おうとしません。この寒空中、ゲーニーはなにもわざわざふきさらしの底の上になくてもよさそうなものなのですが、どうやらただ昼寝に来ているわけではないようです。ゲーニーは、このところのすべてのしゃくの種に落とし前をつけるつもりのようです。このところの不機嫌さは、手のつけようなく、誰かかまわずあたりちらしているのです。気に入らないものは、血をわけた子供達でも、ふらふらと飛び回るミンパチでも、咲き始めた梅の花でも容赦はありません。近頃では人さえ威嚇し、待ち伏せして襲うという凶行をしでかしています。ヨレクホールのS君には、小さい頃から世話になった恩こそあれ、なんの恨みもあるはずもないのに、なぜか敵意を剥き出しにするのです。S君が夜遅く店を閉めたその帰り道に身を潜ませ、通りすがりざまに彼の足に噛み付くのです。驚いたS君が振り払おうとするとますますその足に強く噛みつき離そうとしません。そのまま足にぶらさがった形で振り回されているのを見つけて、あわてて止めに入ったこともあります。S君の話によるとその時が始めてではなかったようで「いったいどうして…。」と弱り果てていました。いつだったかゲーニーは随分遠くまで出かけたようで、線路の向こうの駐車場をゲーニーが歩いているのを見かけたマスターが、「ようゲーニー！」と声をかけたところ、歯をむき出し、足元めがけて向かって来たそうです。これにはさすがのマスターもあきれ、「臂て方が悪かった…」とつぶやいていましたけど、育て方っていったって…猫なんだし、いったいどうすれば良かったのかしらん…。これほど内々の中で非道を重ねているわけですから、よその方達の評判が悪いのも当然で、「お菓子をあげたら、食べるだけ食べて最後にふ〜と唸り声をあげて走っていった」とか、小町通りを歩いているだけで威嚇されたとか、さまざまな噂を耳にします。そのおかげで、人相 猫相？ 兎悪くなり、太い首に黒い大きな顔をつけた肩をいからせ、あたりを三白眼で見渡しながらかく様子は、ちょっとすると猫には見えないほど凶悪なものになりはてしています。「どう見ても猫に見えないよね」狸かと思った、なんか獣っていう感じだわ。その頃のゲーニーは、この世のすべてを敵にまわさずはおかないといった様子でした。もう誰もゲーニーに親しげに声を掛けようとはしません。ゲーニーのここまで激しい敵意はいったいどこから生まれて来るのか、ゲーニーはどういう決着をつけようとしているのか、心配でなりません。



だけど、いつか、

彼女はやっぱり何か分かった気がした。あの雪の朝以来、透明になって、沢山いたずらもして、他人の秘密を見て楽しんでました。そんなこと容てなくなっちゃうものなのに。いつか透明でもなく、輪郭だけでもない私を、彼にちゃんと見てもらおう。そんな日が来るのかな…



to be continued

TOPICS

ミルクホールのオリジナルグッズ  
が登場いたしました。

by ミルクホール&ささめやゆき

鎌倉在住の版画家であり挿絵作家でもある、ささめやゆき氏が、数年前ヨレクホールのために5枚の絵を描いて下さいました。ささめやさんは、別名細谷正之の2つの顔を持つ個性的な作家です。昔見た童話のように、時代や、国や、時空を超えて、私達に夢の世界を思い出させてくれる、可愛くて、ちょっともの悲しくなるようなノスタルジックな絵と文で本や版画を作り上げています。最近では、新聞小説の挿絵や月間『すばる』の表紙などで活躍中です。

ヨレクホールでは、ささめやさんの描いてくださった5枚の絵をモチーフにオリジナル商品を企画制作しています。また、ヨレクホールでは、ささめやゆき氏の、版画ポストカード絵本なども販売しています。



- ミルクホールオリジナルグッズ
- グラス5種類 5個セット 3500円
  - 2個セット 1400円
  - LADY'Sシャツ2種類 2500円
  - 三角灰皿 5種類 1個 850円
  - ローションポンプ 5種類 2000円
  - タンブラー 1個 700円
  - 新入荷
  - マグカップ4種類 1個 750円
  - デミカップ4種類 1個 650円
  - ガラスマグ種類限定50組入荷予定



PARTY

ミルクホールの BAR ROOMで  
パーティを開きませんか？

ミルクホールで少人数のパーティを企画してみませんか？

ミルクホールでは、奥のBAR ROOMを利用した、数人から15人程度の、小さなパーティを承っております。お友達同士のランチパーティや、ティパーティに、ご利用ください。夜のパーティには、ご希望によりお料理をご用意することもできます。どうぞ、お気軽にご相談下さい。カウンタースタッフまでお問い合わせは、お電話かメールにて



0467-22-1179

<http://www.mikhall.co.jp/>  
e-mail [info@mikhall.co.jp](mailto:info@mikhall.co.jp)

Milk Hall Times

ミルクホールタイムス総集編発行  
のお知らせ

ヨレクホールタイムスは1986年に創刊し、現在に至ってます。

19年の間には一年近い休刊もあり、ご愛読頂いたお客さまから苦情を頂くことも度々ありましたが、100号を越すことになり、思えば長い年月が流れたものだと感慨もひとしおです。

長い年月のさまざまな思い出のこもったヨレクホールタイムスの総集編を現在製作中です。

ヨレクホールが開店して30年、タイムス創刊号発行より19年。時代も大きく変わりました。ヨレクホールをご利用頂いたお客様に、30年余のさまざまな記憶を辿って頂き、又、鎌倉の猫事情など、読み物をお読み頂くお客様にはバックナンバー全てを読んで頂けるような編集にしております。発行予定は・・・ただいま奮闘中です。発行日が決まり次第、ご予約など承り、遠方のお客様には郵送もさせていただきます。

製作段階にて煮詰まる場面も多々あり、発行予定は大幅に遅れてごめんなさい。どうか、もう少しお待ち下さい。







**LIVE 2/19 Sat.**  
**pm 7:30**

湘南の波の音、風のささやき。  
 自然を肌で感じ、素直に歌にする。  
 安らぎと憂しさ、心地よい響きが聞こえてくる。  
 中空をやんわりと浮遊するような感覚で  
 感じて下さい。

ハーフムーンのライブで、  
**MILK HALLのBAR TIMEを**  
**お楽しみください**

**HALF MOONの音楽は愛と平和を歌います。**

by  
 琢磨 仁 (Jin Takuma)  
 琢磨 啓子 (Keiko Takuma)



不用な絵



ミルクホールの壁に新しい仲間が加わりました。  
 1月の7日から銀座の東和画廊で催された『さめやゆきガラス絵展』に出品された、ガラス絵の一つを  
 思い切って、本当に、正真正銘なけなしのお財布を逆さまにして買い求めました。  
 「トランボリン」と題された、黒い画面を基調とした滑稽でありながら寂しげな表情のサーカスの女の子のガラス絵  
 は、はかなげで私にはとても魅力的でした。先週ミルクホールへ届けられたこの絵は早速ホールの壁に掛けられ  
 これからの私達の仲間入りをしたわけです。とっても素敵な絵だけれど、ガラクトバカリのミルクホールに来るとあっというまにガラクトバカリになります。なんでもガラクトバカリに変えて  
 しまう魔力がミルクホールにはあるのです。骨董市に出掛けてみると、必ず色々な  
 ガラクトバカリに混じってさまざまな絵が売られています。『不用な絵』というわけです。  
 いったいどこのお宅から出てきたものなのか、何かの理由で持ち主が手放した絵が  
 お茶道具や、焼き物などと一緒に並べられています。私はこの中から何度もすごい！  
 掘り出し物を見つけています。世界の画壇にも名が知られているような画家の絵が  
 無造作に地べたに置かれていることがたびたびあったのです。いったいどこでどうして  
 それらの絵はこういう運命を辿ったのでしょうか。もともとその絵に惹かれた誰かが  
 買い求めたのでしょ、状況が変わったのか、持ち主が移り変わってついに、不用  
 なものとして放り出されてしまったのでしょ。最初にその絵の持ち主になった人の  
 悲しげな声それらの絵から聞こえてくるようです。その絵を描いた人にも買い求めた  
 人にも、さまざまな人生への思いがあったのでしょ。私はそれらの絵を買い取って  
 帰り、お店に並べます。そしてミルクホールのガラクトバカリの仲間入りをし、またいつか、  
 誰かの人生の風景の一部になっていくのです。

不用な絵 1枚 500円より

**ANTIQUE**



ミルクホールのアンティークは  
 毎日の生活の中で使える  
 やさしいアンティークです  
 日常の空間の中で昔の時間と  
 触れ合ってみてください

**新入荷情報**

伊万里・古陶磁  
 和洋家具  
 古民芸  
 アンティーク

♣ **古陶磁**

東大寺瓦・百済瓦など  
 古伊万里小皿・鉢  
 大正時代色絵碗・皿入荷  
 昭和漫画子ども碗  
 明治銅版そば猪口ほか  
 伊万里そば猪口・明治鉢  
 李朝白磁・青磁

伊万里・古伊万里入荷  
 明治銅版各種入荷

♠ **四国砥部焼鯨絵染付新入荷**

昭和25年～30年頃輸出用デッドストック  
 敗戦後の日本で産業の再生を賭けて輸出用に焼かれ、  
 そのまま倉庫に眠っていた在庫の品です。  
 珍しい鯨の絵がモダンなデザインで好評です。  
 まだ産地に残る残った品を探しました。  
 猪口・小皿各種の他、鉢等入荷



♠ **和洋家具** 明治・大正時代の和洋家具類

昭和初期布張りラブリチェアー  
 大正時代 衣装箆笥他  
 昭和初期本箱  
 昭和初期文机

◆ **アンティーク**

大正時代ガラス器  
 大正時代ランプシェード  
 ステンドグラス各種  
 英国製 1920年頃  
 レプリカ照明器具各種  
 大正 昭和初期風  
 ランプシェード金具付

